

開業前、国内外に幅広く施設開館への期待感を醸成

10月25日～27日 出島メッセ長崎で ICCA(国際会議協会)年次総会のハブ会議が開催されます！

11月1日に開業するMICE施設「出島メッセ長崎」にて、開業前の10月25日～27日にICCA（国際会議協会）年次総会のハブ会議が開催されることが決定しました。

本年のICCA年次総会は、コロンビアのカルタヘナで開催されますが、新型コロナウイルス感染症対策として、世界の各都市のハブ会場とオンラインで繋いだハイブリッド形式となります。この度、ハブ会場の公募がなされ、長崎市がアジア・パシフィックエリアにおけるハブ会場に決定しました。

ICCAは、全世界で5つのエリア別の部会がありますが、300以上の企業・団体が参加する、アジア・パシフィック部会は最大規模であり、ソウル(韓国)にもハブ会場が設けられます。その他、パリ(フランス)、アブダビ(アラブ首長国連邦)、ヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)がハブ会場に決定しています。

■ICCA年次総会ハブ会議の概要

日 時 : 2021年10月25日(月)～27日(水)

場 所 : 出島メッセ長崎

(本会場) : カルタヘナ(コロンビア)

(ハブ会場) : 長崎(日本)、ソウル(韓国)、パリ(フランス)、
アブダビ(アラブ首長国連邦)、ヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)

参加者数 : 100人程度

内 容 : 年次総会は 世界の国際会議のプロが一堂に会し、世界のMICEに関する最新情報の交換や共有を図る場となっている。コロンビアとの時差の都合上、年次総会のプログラムは録画したものを放映し、ハブ会場においては、**地域の独自企画**を行うことが予定されている。

総会HP : <https://www.iccaworld.org/evps/evitem.cfm?id=891>(英語)

■ICCA(国際会議協会)とは

『ICCA (International Congress and Convention Association)』(国際会議協会)は、国際会議関連企業・政府系機関・専門家集団がまとまって設立した国際機関(本部:アムステルダム)。1963年に旅行代理店の団体によって設立。

現在、1,100以上の企業や団体、約100の国・地域が加盟し業界を牽引し続ける、MICE分野における最大規模の業界団体。

■ICCA(国際会議協会)ハブ会議開催の効果

- 世界各国の MICE 分野の関係者に幅広く、MICE 都市、長崎としての存在感をアピールできる。
- 長崎開催の政府系会議及び国際会議の誘致において、大きな実績となる。
- 出島メッセ長崎がハイブリッド開催の会場として十分な設備、機能を備えていることを国内外に認知してもらうことができる。
- 開業前の国際会議開催により、市民のみならず、国内外に幅広く施設開館への期待感を醸成することができる。